



# 若者のアイデアで地域課題を解決 きくがわ高校生まちづくりスクール

高校生の企画やアイデアをまちづくりに生かす「高校生まちづくりスクール」。市民協働センターが主催し、高校生14人が参加しました。高校生たちは、昨年6月から自分の好きなこと、やりたいことなど関心のあるテーマを見つけ、全5回の講座で、地域課題に取り組むNPOなどでインターンシップを体験したり、地域の人から課題を聞いたりしながら、実現可能なプロジェクトを考えてきました。12月16日、プラザきくいで「きくがわ高校生まちづくりスクール」の最終報告会が開催され、5グループがプロジェクトを提案しました。高校生たちの提案内容を紹介します。

**問い合わせ** 菊川市市民協働センター（プラザきくの内☎35-2220）



1 課題を見つけるための意見交換会 2 現場に出向いて話を聞く

## Project 1 コミュニケーションで地域交流を図る チーム△(トライアングル)



▲市内企業の社員や地域活動を行う市民と意見交換を行う

**地区センターを利用して交流の場を作る**

私たちは、地域交流をコミュニケーションの観点から考えました。高校生の中には、地域の人とすれ違って挨拶をしない人が多いです。これは、地域の人と高校生が関わる場が少なく、高校生が地域を居場所と感じることが少なくなっていることが原因だと考えました。そこで、高校生世代が地域の人と会った時に挨拶を交わすようになるために、地域の人がどのようなことを求めているのかを聞くことにしました。「若者と地域交流について」をテーマに、市内企業や地域活動を行う市民と意見交換を実施しました。

話していく中で、普段から緩く繋がれる場所があることが重要だと感じました。そこで、地区センターを交流の場として活用しようと考えました。しかし、私たちにとって利用しづらい印象があったため、まずは、地区センターのお掃除イベントをやってみようと考えました。自分たちの手で地区センターをきれいにするのではないかと考えたからです。そこで出会った人が顔見知りになり、挨拶をする関係になって、イベントに参加するということ、無限ループが生まれることで、コミュニケーションが広がっていくと考えています。



たくや 木村 拓暉さん



あまね 北戸 天音さん



けんじ 河原崎 賢治さん



そら 落合 奏楽さん



りく 小澤 陸空さん



すみれ 石上 すみれさん